

生菓子など劣化の早いものには「消費期限」、缶詰など比較的劣化の遅いものには「賞味期限」が表示されます。

消費者は「食のブランド品」(〇〇産の△△)をありがたがったり、食に対する不安から国産品を欲しがったりします。

法令遵守のことです。

2003年に牛トレーサビリティ法が、2009年に米トレーサビリティ法が制定されました。

罰則を与えるという消極的な対策だけでなく、生産者や販売者の責任感が高まるような、より積極的な施策も考えてみます。

食品ロスの約半分は家庭から排出されています。

正式名称を「食品ロスの削減の推進に関する法律」といい、2019年に施行されました。

食の問題

p.29の「テーマ別 時事キーワード」も参考にしよう。



私たちが生きていくうえで、食料を手に入れること、「食の安全・安心」を確保することは、最重要課題の1つです。安全・安心な食生活を送るために、何が必要かを考えてみましょう。

食の安全・安心

現状と問題点

「食の安全・安心」をおびやかす事件

健康被害や消費者の不安

- ・BSE(牛海綿状脳症)など家畜の伝染病の発生
- ・消費期限の書き換え
- ・原材料の産地偽装
- ・食中毒の発生

ほかにはどんな「食の安全・安心」に関する事件が起きているだろう。



原因の例

- ・コスト重視の考え
- ・人の健康や命に関わるものを扱うことへの意識の低さ
- ・コンプライアンス意識の低下

生産者や加工業者など もうかればよいという意識

消費者 安いほうがよいという意識

不十分な安全確保措置

「食の安全はあって当たり前」、「食の安全は簡単に手に入る」という思い込み

対策

食品トレーサビリティ = 食品の生産から最終段階までの流通経路をたどることができるシステム。

HACCP(ハサップ) = 国際的な衛生管理の手法。日本では2021年より原則として義務化された。

▼「食の安全・安心」のためにはどのような対策が有効か、考えてみましょう。

・生産者や加工業者、... 販売者の意識を高めるためには

安全確保のための取り組みを支援する。食品に生産者の名前や写真を付ける。

・消費者として気を付けるべきことは

値段のみで食品を選ばない。できるだけ地元の信頼できる食品を購入する。

食品ロス問題

食品ロス(フードロス) = まだ食べられるのに廃棄されてしまう食品のこと。

事業系食品ロス 生産・製造・流通・小売の過程で発生する食品廃棄物

家庭系食品ロス 家庭から発生する食品廃棄物

▼「食品ロス」を削減するために行われていることや私たちにできることを挙げてみましょう

食品ロス削減推進法などの法整備。フードバンクの活動。飲食店では注文しすぎず、食べ残しをしない。食べきれぬ量の食材を購入する。

品質に問題がないにもかかわらず市場に流通できない食品を引き取り、食べ物の支援が必要な人に提供する取り組みです。

食糧問題

現状と問題点

飢餓 = 長期にわたって食べ物を食べられず、栄養が不足し、生活に支障をきたしている状態。

慢性的な飢餓

世界で飢餓の影響を受けている人

約8億3千万人 (2021年)

出典:『世界の食料安全保障と栄養の現状』(国連機関)

世界全体では十分な食料がありますが、そのほとんどが先進国に集中していることが飢餓の原因の一つです。

原因の例

貧困のため、種や肥料を購入できず、食料を生産できない。

干ばつや洪水などの自然災害により、農作物が被害を受ける。

先進国の食品ロス (p.8参照) を開発途上国に届ける手段がない。

対策

持続可能な農業の推進

食品ロスの削減

▼ 飢餓をなくすためにどのような取り組みが行われているでしょうか。

先進国によるODA (政府開発援助) を通しての支援活動。自然災害に左右されない農業の確立。食品ロスの削減。

SDGsの17の目標の中にも「飢餓をゼロに」という目標があるよ。(p.35参照)



国連の機関であるFAO (国連食糧農業機関) やWFP (国連世界食糧計画) は、飢餓を撲滅する活動をしています。

食料自給率

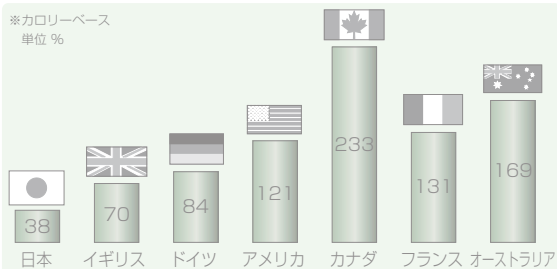
日本の食料自給率の低さ

自給率の高い米よりも、原料を輸入に頼るパンなどを食べるようになった。

外食や加工食品の消費が増えて、生産が追いつかなくなった。

最近は外食以外に、調理済み食品を買ってきたり、宅配サービスを利用したりして家で食べる「中食 (なかしょく)」が増えていきます。

食料自給率の国際比較 (2019年)



出典:『食料需給表』(農林水産省)

▼ 日本の食料自給率はどのくらいですか。

およそ40%。

▼ それは、他の先進国と比べてどうですか。

とても低い状態にある。

日本は農産物の輸入が非常に多い国です。

食料自給率向上の必要性

▼ 食料自給率を向上させる方法を考えてみましょう。

・生産者側の ... 対応 **農地規模を大きくする。品質改良をする。食糧廃棄物を飼料にする。**

・消費者側の ... 対応 **米中心の食生活にする。地産地消を心掛ける。「もったいない」の精神や「いただきます」という感謝の心を大切にする。**

飼料の輸入を少なくすることが、自給率の向上につながります。

地元でとれたものを地元で消費することです。

農業は、洪水を防ぐなどの防災機能、空気をきれいにする大気浄化機能の役割も担っています。

政府は2030年度の目標を45% (カロリーベース) としています。